

	外国語学科 英米語専攻	外国語学科 中国語専攻	外国語学科 韓国・朝鮮語専攻	外国語学科 スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻
学びの特色、強み	本学科では、実社会で人材が求められている5言語に対応する4専攻を設置しています。伝統教育のノウハウと先進のマルチメディア教育を融合させ、語学力を短期間でアップさせる体系的な語学科目や異文化理解を深める豊富な講義科目を用意。演習では、論理的思考力を鍛え、海外語学実習や留学体験を通じて、国際的視野を養います。外国語スピーチコンテスト全国大会で上位入賞を果たす学生も多く在籍しています。			
求める人材像	英語圏のことは、文化、歴史、習慣などに関心があり、語学、文学、歴史、社会、教育などの領域で学びたい人や、英語でのコミュニケーションで日本と海外の橋渡しをするなど、英語を生かして活躍したいと考えている人を求めます。	中国語圏のことは、文化、歴史、社会などに関心があり、それらの学問領域で学びたい人を求めています。中国語を用いて国内外で活躍したい人、論理的思考力と多様性に関心を持ち、尊重する姿勢をもつ人を積極的に受け入れます。	韓国・朝鮮のことは、文化、歴史、社会などの知識を深め、言語による高度なコミュニケーション能力で社会に貢献する人材を養成。韓国・朝鮮に関心がある、日本と韓国・朝鮮との間で活躍したい、そんな「やる気」を応援します。	スペイン語またはブラジルポルトガル語の高いレベルの運用能力を身につけ、専門性と教養を育成。世界および日本のさまざまな分野において、異文化に対する理解や他者への貢献に取り組むことができる人を求めています。
身につく力	少人数制教育による実践的な英語の運用能力を養成します。1・2年次は、文法および語彙・読解・スピーキング・プレゼンテーションなどの基礎能力を、3・4年次では語学力を生かして専門性の高い学問領域（英語学・英米文学・英米史・英米社会・英語教育など）で学びを深めます。また、語学実習や留学を通じてグローバルな視野を養います。	日常会話だけではなくインターネットやSNSを用いた実践的中国語コミュニケーション力と、華人社会全般に関する知識を広く身につけます。またそれらをベースに課題を見つけた解決するための情報収集力と分析力を習得。多文化共生社会のリーダーとして他者への献身の精神を実践する能力を養います。	文法・会話・発音などの専門科目では専攻独自の教科書を使い、体系的な韓国・朝鮮語教育を展開。確かな語学力を身につけます。特にCALL教室で行う授業では、ハングルのキーボードの習熟を通じてパソコン環境に慣れる練習をします。「海外語学実習」では約3週間の韓国短期留学プログラムを通じ、韓国に対する理解を深めます。	広大なエリアで話されているスペイン語またはブラジルポルトガル語の実践的な運用能力と、スペイン語圏・ポルトガル語圏の社会と文化に関する専門的な知識を習得し、日本国内外の国際協力・外交・貿易・行政・観光・教育などの分野において活躍できる能力を身につけます。
取得可能な資格	中学校教諭一種免許状（英語）／高等学校教諭一種免許状（英語）／図書館司書／博物館学芸員／日本語教員／矯正・保護支援／社会福祉主事任用資格	高等学校教諭一種免許状（中国語）／図書館司書／博物館学芸員／日本語教員／矯正・保護支援／社会福祉主事任用資格	高等学校教諭一種免許状（韓国・朝鮮語）／図書館司書／博物館学芸員／日本語教員／矯正・保護支援／社会福祉主事任用資格	図書館司書／博物館学芸員／日本語教員／矯正・保護支援／社会福祉主事任用資格
目指せる将来像	高度な英語運用能力と国際的視野を生かして地域社会や国際社会に貢献できる人を育てます。国内外の企業で英語をツールとしてグローバル社会で活躍する人、国際機関職員として日本と海外の橋渡しをする人、英語教員や日本語教員、翻訳、通訳など専門性の高い分野で働く人や国内外の大学院進学、研究者としての道を歩みたい人を育てます。	学部での学びを通じて身につけた実践的な中国語のコミュニケーション力と、ボランティアなどの課外活動を通じて身につけた行動力を活かしながら、これから多文化共生がますます進む日本社会、あるいは海外の華人社会で生き生きと働き、社会に貢献できる人材を養成します。	韓国・朝鮮語の実践的な運用能力と韓国・朝鮮文化に対する体系的な知識を身につけた卒業生が外務省職員、警察官などの公務員として、また航空会社や旅行会社、ホテルといった様々な民間企業で活躍しています。教職課程を履修して高等学校教員となる道、大学院に進学して研究者となる道もひらかれています。	スペイン語やポルトガル語が使われている世界の諸地域とかわりを持つ企業や機関への就職のほか、中南米出身者の多い地域における行政・教育などの分野で、スペイン語やポルトガル語を母語とする外国人との共生・協働に貢献する仕事への就職の道が開かれています。さらに、高度な語学力を活かして外務省在外公館での勤務や大学院進学をめざすことができます。

地域文化学科 アジア・オセアニア研究コース	地域文化学科 ヨーロッパ・アフリカ研究コース	地域文化学科 アメリカス研究コース	地域文化学科 日本研究コース (留学生対象)
-----------------------	------------------------	-------------------	------------------------

学びの特色、強み	本学科は南北の視点で世界を縦軸に分類、9つの地域言語をふくむ広域なエリアを研究する3つのコースを設定し、さらに外国人留学生が日本を多様な視点で研究する日本研究コースも併設。複雑化する現在の国際社会を新たな切り取り方や交錯する視点でとらえ直すトレーニングを重ねることで、不確実性が増すこれからの時代に粘り強く試行錯誤と前進が行える人材の育成を目指します。			
求める人材像	国内外の多様な文化に関心があり、他者と積極的にコミュニケーションを取って、異文化から学ぼうとする人材を求めます。特に、アジアと太平洋の地域に興味があり、その地域の文化や言語を学ぶ意欲のある人を歓迎します。	ヨーロッパ・アフリカをはじめ、多様な文化に関心を持ち、理解し尊重しようとする姿勢を持つ人。スポーツ・文化活動などの活動経験があり、異文化コミュニケーション能力と学際的な知識を身につけて活躍したい人を求めます。	コミュニケーション能力があり、人や文化、特にアメリカス世界の人々や文化に関心があり、その地域の文化や言語を学ぶ意欲のある人を求めています。	5大陸20数か国からの留学生が学ぶ本コースでは、日本語能力を高めながら、日本の社会や文化の知識を深めます。多様な文化が交錯する環境で視野を広め、適切なコミュニケーションができる人材の育成を目指しています。
身につく力	アジアや太平洋の国や地域の社会・文化についての基礎的な知識を身につけ、それらの地域に見られる今日的な問題について考える力を養います。韓国・朝鮮語、中国語、タイ語、インドネシア語から1言語を選択し、コミュニケーションのツールとしてその言語を習得することができます。	外国語能力と情報収集力、共存する多様な文化の学際的見地からの理解力、情報収集と分析を通して課題を設定する力、日本語と外国語を使い異文化交流に積極的に取り組む姿勢、多様性を尊重する姿勢、他者との共生力、「他者への献身」の精神をもって活動する力を養います。	アメリカス世界についての基礎的な知識を身につけ、今日的な課題について学び、考える力を身につけます。南北アメリカを包括的かつダイナミックにとらえる学びで、アメリカとラテンアメリカの関係をリアルタイムで学ぶことができます。	本コースは、「日本語能力の向上」を基礎に「日本社会・文化の理解」「ナラロジー：グローバル化時代の奈良研究」という3つの柱を掲げています。日本語教員養成課程を通じて日本語を専門的に教える力も習得しながら、日本や奈良の歴史・文化・社会をグローバルな視点から紹介できる力を身につけます。
取得可能な資格	図書館司書／博物館学芸員／日本語教員／矯正・保護支援／社会福祉主事任用資格			
目指せる将来像	本コースでは、日本語と外国語を駆使して国際交流、海外伝道、国際観光、国際スポーツ指導、国際ビジネスなどにおいて活躍できる人材を育成しています。卒業後は、警察官、航空会社への就職、大学院進学など、幅広い分野で活躍することが可能です。	本コースでは、日本語と外国語を駆使する力を養い、国際交流、海外伝道、国際観光、国際スポーツ指導、国際ビジネスなどにおいて活躍できる人材を育成します。卒業後は、警察官、航空会社への就職、大学院への進学などの進路が考えられます。	本コースでは、日本語と外国語を駆使して国際交流、海外伝道、国際的な観光やビジネス、国際ボランティアなど、多彩な分野で積極的に社会に貢献できる社会人を目指すことができます。卒業後は、公務員、航空会社への就職、大学院進学など、幅広い分野で活躍することが可能です。	本コースでは、日本語と外国語を駆使して国際交流、海外伝道、国際的な観光やビジネス、国際ボランティアなど、多彩な分野で積極的に社会に貢献できる社会人を目指すことができます。卒業後は、公務員、教員としての道、航空会社への就職、大学院進学など、幅広い分野で活躍することが可能です。

活発な 地域・社会貢献

Faculty of International Studies

国際学部

◎外国語学科 [英米語専攻/中国語専攻/韓国・朝鮮語専攻/スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻]
◎地域文化学科 [アジア・オセアニア研究コース/ヨーロッパ・アフリカ研究コース/アメリカス研究コース/日本研究コース(留学生対象)]

スピーチコンテストで、 世界へ発信

海外ではたらく

多様な異文化への “心の姿勢”

多様な国際交流

2020年度卒業生実績

○大学院進学者数 3名 ○中学校・高等学校免許状 60名(延べ人数) ○日本語教員養成課程修了者数 7名
※ 国際学部では保健体育科の教員免許状は取得できません。


就職実績

(2020年度卒業生実績)

〈主な業種〉卸売・小売/教員(講師含む)/宗教(天理教)/製造/公務員/建設/生活関連/娯楽/医療/福祉
運輸・郵便/金融/保険/情報通信/不動産・物品賃貸/サービス/宿泊/飲食/複合サービス事業/学習支援 など
〈主な就職先〉●東芝●ホシデン●共和●日本ハウスホールディングス●信和建設●大和ガス●ニトリ●NTTドコモ
●中部ケーブルネットワーク●JR東海●近畿日本鉄道●丸和運輸機関●共同精版印刷●オービス総研●ファイテン
●東洋スクリーン工業●オンワード樫山●ライフコーポレーション●カインズ●アダストリア●南都銀行●中国銀行
●大和信用金庫●西尾レントオール●かいげつ●湯快リゾート●奈良県農業協同組合●警察(奈良県、大阪府など) 他

就職決定率

94.5%



●留学先：**アメリカ**
カリフォルニア州立大学ロングビーチ校

●期間：12ヶ月(認定留学)

藤村 紘太さん
地域文化学科
アメリカス研究コース 4年次生

高校時代アメリカに行った経験から、もっとアメリカについて知りたいとの想いで留学を決意。出発までは、SNSなどを活用しながら毎日とにかく英語に触れる環境を作るように心がけました。留学して一番良かったのは、自分を変えることができたことです。アメリカの人たちとの交流を通じ、考え方や物事の捉え方の違いから大きな影響を受けました。夢は、アメリカの大学に入学し、現地で就職することです。




●留学先：**インドネシア**
バジャラン大学

●期間：6ヶ月(交換留学)

東川 茉梨亜
ナダブダツプさん
地域文化学科
アジア・オセアニア研究コース 4年次生

父がインドネシア人であることから、インドネシア語を話せるようになりたいと考え、インドネシア留学を決めました。出発前はチューター制度やiCAF6の利用を通じて留学生と交流したり、YouTubeを活用したりして猛勉強。留学中は話し言葉や略語に苦戦しながら、学びへの意欲にあふれた留学生と切磋琢磨で本物の語学力を磨きました。ムスリムの文化や生活に触れて視野を広げ、コミュニケーション力や環境適応力を身につけました。




●留学先：**コロンビア**
バジェ大学

●期間：12ヶ月(交換留学)

侯野 理樹さん
外国語学科 スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻
3年次生

コロンビア留学を決めたのは、ラテンアメリカの陽気な雰囲気や音楽が好きだったことが理由です。出発前は、アイ・カフェで毎週コロンビア出身の留学生からスペイン語や文化などを教わり、スペイン語検定の取得にもチャレンジ。留学中はコロンビアを代表する作家、ガルシア・マルケスの授業に刺激を受けながら、現地の人々の前向きな性格に触れ、今までの自分の世界がいかに小さかったかを痛感しました。



●留学先：**アメリカ**
ハワイ大学マノア校

●期間：6ヶ月(認定留学)

谷岡 ほのかさん
外国語学科 英米語専攻 3年次生

日本語教員をめざしながら、英語教育のゼミで勉強に励んでいます。日本以外の場所ですさまざまな経験してみたいと考え、2年次にハワイ大学に留学。印象に残っているのは、ホノルルマラソンです。ホストファミリーや先生、友達から浴道にいる人たちまで、多くの声援を通じて人の温かさを感じた素晴らしい1日になりました。留学で実感した挑戦の大切さを胸に、世界に日本の魅力を伝えられる教員になりたいです。



●留学先：**スペイン**
サラマンカ・ボンティフィシア大学

●期間：12ヶ月(交換留学)

木村 英里さん
外国語学科
スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻
4年次生

少人数制による先生と学生の距離の近さに惹かれ、天理大学を選びました。出発前は語学の勉強に励み、スペイン語検定4級を取得しました。留学中は、語学力を用いて自分の意見を伝えることの大切さを痛感し、日記をつけてアウトプットの練習に励みました。異文化との交流は、さまざまな視点から物事を考えることの大切さを教えてくれました。現地の人の積極性や行動力をお手本に、「迅速果敢」な人をめざしたいです。



●留学先：**タイ**
マハーサーラカム大学

●期間：12ヶ月(交換留学)

西田 聖良さん
地域文化学科
アジア・オセアニア研究コース 4年次生

交換留学制度や奨学金など、留学に関する手厚いサポートに魅力を感じて天理大学に進学。留学中は語学の壁にぶつかりながらも、自分の知らないことを一時的に「変なもの」として否定的に捉えるのではなく、「知らないもの」を「知らないもの」としてありのままに認識し、理解しようとするの大切さを学びました。グローバル化が加速する現代社会において、多様な文化や価値観を受容できる人として活躍したいです。



●留学先：**ドイツ**
ケルン大学

●期間：6ヶ月(交換留学)

梶原 愛菜さん
外国語学科 英米語専攻 4年次生

英米語専攻はほとんどの人がアメリカなどの英語圏を選択しますが、高校時代にドイツ人留学生の友人がいたことや、英語以外の言語も学びたかったことからドイツ留学を選びました。現地ではドイツ語を123時間(4単位に相当)に加え、英語も8単位取得。ドイツ語だけでなく英語も学べ語学の壁も積極的なコミュニケーションで乗り越え、素晴らしい友人たちに囲まれて楽しく過ごすことができました。



●留学先：**フランス**
オルレアン大学

●期間：4ヶ月(交換留学)

宮岡 里緒さん
地域文化学科
ヨーロッパ・アフリカ研究コース
3年次生

国際的な仕事をしたいとの想いから、フランス語を習得するために留学を決意しました。留学中は語学力を磨きながら世界中の友人と交流し、自分の固定観念を覆しながら、世界を見ることの大切さを実感。幅広い考えを持てるようになりました。卒業後はホテル業界で働き、日本の「おもてなし」を世界の人に届けるのが夢です。貧困に苦しむ子どもたちを支援できるような国際ボランティア活動にも力を入れています。



●留学先：**韓国**
東国大校

●期間：12ヶ月(交換留学)

新留 由唯さん
外国語学科
韓国・朝鮮語専攻 3年次生

高校生の頃に熱中した韓流ドラマをきっかけに韓国語を勉強するようになりました。基礎からしっかり学びたいとの想いで現専攻に進学し、2年次に留学へ出発。留学して一番良かったことは、一生ものの友人に出会えたことです。韓国語をはじめとするさまざまな国の人々とのかわりななかで、日本での当たり前が当たり前ではないことや文化や考え方の違いを知り、多角度から物事を考えられるようになりました。



●留学先：**アメリカ**
オハイオ州立大学

●期間：6ヶ月(交換留学)

鴻野 直人さん
外国語学科 英米語専攻 3年次生

外交官として世界を舞台に働く夢を叶えるため、英語力を磨き、さらにアメリカから見た日本という視点を持つために留学へ出発。現地で勉強に励むなかで、語学はあくまでもツールであり、最も重要なことは「何を伝えたいか」であると気づくことができました。めざす人物像は、留学中に親切にいただいたアメリカ人夫婦のような、心が広くおおらかな人です。失敗を恐れず、目標に向かって努力を続けていきます。



●留学先：**台湾**
中国文化大学

●期間：12ヶ月(交換留学)

宮脇 奈々子さん
外国語学科 中国語専攻 4年次生

中国語を話す観光客の方の役に立ちたいとの想いから中国語を専攻。現地の人と交流し、多くのことを学びたいとの想いで台湾の協定校に交換留学。出発前は海外大学の学生を対象とした夏期日本語講座にスタッフとして参加し、できるだけ毎日中国語に触れるように心がけました。台湾留学中も、現地で日本語を学んでいる学生と交流をする活動に積極的に参加。現地の学生との交流を通じて、大切な友人が沢山できました。



●留学先：**韓国**
建国大学校言語教育院

●期間：12ヶ月(認定留学)

望月 妙夏さん
外国語学科 韓国・朝鮮語専攻 4年次生

日韓の経済関係や歴史問題に興味を持ち、高校生の頃から韓国・朝鮮語の勉強を開始。より専門的に学びたいとの想いで天理大学に進学し、現地の空気感のなかでネイティブがよく使う表現を習得するために留学しました。出発前は、韓国人の留学生とのやりとりや韓国ドラマで勉強して準備。留学中は日本と韓国の「当たり前」の違いに驚かされながら、さまざまな国の人とかわり、新しい価値観を学ぶことができました。

※ 学生の年次は、2022年3月時点のものになります。

海外へ飛びたち、世界で学ぼう！

豊富なチャンスと経済的サポートで、充実の留学体験を提供

天理大学は、建学の精神にもとづく「宗教性」「国際性」「貢献性」を兼ねそろえた人材を育むため、学生の国際体験を全力でバックアップしています。「留学がしやすい天理大学」ならではの多様な留学先と単位互換・奨学金制度で、あなたの夢への挑戦をサポートします。

- 交換留学と認定留学の2種類を用意
- 24カ国・地域、53大学と学術交流協定を締結し、10言語に対応
- 交換留学・認定留学とも、留学先で取得した単位を認定* ➡ 1年間留学しても4年間で卒業できる！
- 原則、長期留学する学生全員に奨学金を支給
- 留学前・中・後にわたり、手厚くサポート&フォロー

* 留学先で履修し取得した単位は、本学開設の授業科目に相当する科目に限り、原則として規定する単位数を限度として認定を受けることが可能です。

●留学制度の特色	期間	留学先大学	特色	留学資格	奨学金	ポイント
交換留学	6ヶ月または1年間(2年次以降)	本学の協定校18カ国・地域、36大学が対象	全協定校が原則授業料免除、一部寮費や光熱水費が免除される大学も	選考試験あり	年額34万円	学内の選考試験を通過する必要がある。本学への学費納入をすれば留学先での授業料は原則不要。
認定留学	6ヶ月または1年間(2年次以降)	希望する大学が認定留学先として認められた大学	授業料、寮費、光熱水費は自己負担	選考試験なし	留学先授業料相当分(年額上限46万円)	学内の選考試験は不要。希望する大学が認定留学先として認められれば留学可能。諸手続きは自分で行う。

◎ 学業優秀な学生には、月額3万円の奨学金がプラス

交換・認定留学をする学生のうち、特に学業や人物が優秀と認められた上限5名に、1年間月額3万円を支給する奨学金制度も設けています。

交換留学 年額34万円	+	留学生奨学金 月額3万円(年額36万円)	=	年額70万円
認定留学 年額上限46万円	+		=	年額上限82万円

異文化理解を深める、多彩な海外プログラム

国際参加プロジェクト

建学の精神にもとづく「他者への献身」を、国際舞台で実践する教育プロジェクト。2001年のインドでの開催を皮切りにネパール、カンボジアなど途上国へ赴き、さまざまな貢献活動を実施。数カ月の準備期間を経て、滞在中は現地の人々とともに生活。参加学生に多くの気づきをもたらし、海外で動くきっかけとなったと話す卒業生も多数います。



国際スポーツ交流実習

スポーツを通じて海外で国際交流を楽しみ、異文化理解を目指します。2012年度よりドイツで実施し、ケルン体育大学やマールブルク大学などでスポーツを介して現地の学生たちと交流。さらにドイツ語の学習や子どもたちとの触れ合いなど、多彩なプログラムにも参加。スポーツ文化や指導法の違いなど、多くの気づきを得ることができます。



海外語学実習

外国語学科の全4専攻で実施。主に長期休業期間中の約3週間、専攻と関係の深い各国の大学機関などで短期集中講座に参加。授業の他にも課外活動やホームステイ、大学寮での滞在中、生の語学に触れます。留学との一番の違いは、専攻の教員が帯同すること。信頼のおける教員の指導のもと、語学を磨き異文化体験することができます。

	期間(2018年度実績)	研修先	費用
英米語専攻	2月中旬～(25日間)	スカジット・バレー・カレッジ(米国・ワシントン州) マレー州立大学(米国・ケンタッキー州)	40万円
中国語専攻	7月下旬～(22日間)	北京師範大学(中国・北京)	25万円
韓国・朝鮮語専攻	8月上旬～(21日間)	中国語文化大学(台湾・台北)	25万円
	8月上旬～(21日間)	韓国外国語大校(韓国・ソウル)、嶺南大校(韓国・慶山)	26万円
スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻	2月上旬～(29日間)	サンティアゴ・デ・コンポステラ大学(スペイン・マドリッド、サンティアゴ、バルセロナ) *ポルトガル語圏では隔年毎にブラジルとポルトガルで実施。	40万円

※ スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻のみ選択制。他3専攻は参加必須。 ※ 本実習の費用は自己負担。留学に関連した奨学金は対象外となります。
※ 英米語専攻については、2020年度より2コースから選択になりました。

民族も国境も超える、 “揺るがない力”を培おう。

“揺るがない力”を培う3つの柱＝「実践的語学教育」「多様な国際交流」 「活発な地域貢献・社会貢献」＋それを支える教養と学問

ウイズコロナの時代に突入しても、国内外での異文化間交流の機会が加速していることに変わりはありません。このような時代になる遙か以前の90年以上前から、ここ奈良盆地に立地する本学国際学部では、少人数制で懇切な指導による、多様な外国語の「実践的語学教育」を実施してきました。現在では世界5大陸20数か国の大学との密な提携関係による交換留学やスポーツ交流など各種の豊富な「国際交流」の機会が用意され、また日本語を「外国語」として学ぶ外国人留学生も多数迎え入れています。さらに地元や国内ばかりでなく、海外での国際ボランティア活動なども含め各種の「地域貢献・社会貢献」活動を長年実践しており、学生時代に豊かな体験ができる環境が整っています。こうした国際教育の実現を、高等教育としての教養・学問を提供する教授陣が担い支えています。

本学部での学びと経験を通じ、今後も世界が変容し、AI翻訳技術や通信技術が発達しても、価値を失うことのない「揺るがない力」の元となる手がかりを見つけることができるはずです。

スコアだけでは計れないもの — 本学だからこそ、身につく力

国際学部は本学の90年以上に及ぶ語学教育や国際教育を受け継ぎながら、従来の概念にとらわれない新しい世界観と行動力を持つ次世代の国際人を育てることを目標としてきました。本学国際学部で身につく力は、TOEICや語学検定などで数値化できる能力にはとどまりません。突出した語学力に加え、人の心まで理解できる深い教養、豊富な海外経験をベースとした高いコミュニケーション能力、社会や組織に貢献したいと願う人間力が、天理大学国際学部の在学・卒業生の持つ魅力です。

国際学部が目指す人材育成 変化する世界で活躍できる「グローバル」な人材を育成します。

グローバルに考える

従来の枠組みにとらわれない「地球規模」の視点、そして「世界への貢献」という高い志を持つことで、変化に柔軟に対応し、大局的に自分の役割を考えられる人材を育成。



ローカルに行動する

グローバルな視点で見つけた課題を、各地で実践できる人材や、自国のアイデンティティに立脚しながらグローバルに考えられる人材といった、今後の国際社会に必要な人材の育成。



学部長 INTERVIEW



グローバル社会に貢献する、 本物の「国際性」が身につきます。

天理大学 国際学部 学部長 井上 昭洋

国際学部での学びは学生をどのように成長させ、 人生をどのように豊かにするのでしょうか？

多様な地域の言語や文化について学び、海外プログラムへの参加や留学生との交流によってリアルで実践的な「国際性」を身につけた学生たちは、まさにグローバル社会で生き抜くための力を得ることになります。未知なるものにアプローチし理解しようとする姿勢や、何事にもチャレンジする態度は、海外のみならず、日本国内においても異質な他者とかわり、共生していくうえで大いに役立つはず。学部で培ったチームワークの精神や、1 + 1 を3にも4にも変えられるバイタリティも、卒業後さまざまな職場で生かされるといえます。

学生たちの雰囲気や印象は？

周囲と協働し、一致団結して物事に取り組み、成し遂げる力を感ずります。人に対する優しさや思いやりを持った学生が多いのも特徴です。

国際学部で学ぶ魅力とは？

留学を筆頭に国際参加プロジェクトや国際スポーツ交流実習など各種海外プログラムが充実しており、お題目だけではないその内容の濃さが魅力です。こうしたプログラムを利用した学生は、海外に目を向け、リアルで中身のある「国際性」を身につけていきます。留学生が多いことから学内における異文化交流が盛んなことも特筆すべき点です。座学だけでは習得できない、「生の経験」を通じた本物の「国際性」で、グローバル社会に貢献していく力を養います。

国際学部を志望する受験生にメッセージを

海外の言語や文化に少しでも興味があるのなら、伝統と実績のある本学国際学部の門を叩いてほしいと思います。新しい世界を体験し、刺激的な人生をスタートさせるきっかけにしてください。

外国語学科

高度な言語力を持つスペシャリストをめざす。

本学科では、実社会で求められている5言語に対応する4専攻を設置しています。伝統教育のノウハウと先進のマルチメディア教育を融合させ、語学力を短期間でアップさせる体系的な語学科目や異文化理解を深める豊富な講義科目を用意。演習では論理的思考力を鍛え、海外語学実習や留学体験を通じて、国際的視野を養います。各スピーチコンテストで上位入賞を果たす学生も多くいます。

魅力を PICK-UP!

スピーチコンテスト

外国語学科では、毎年多くの学生が専攻言語のスピーチコンテストで優秀な成績を収めています。教員や先輩からの熱意あふれる指導のもと努力して大会に挑んだ経験は、語学力のレベルアップはもちろんのこと、貴重な経験となること間違いありません。



〈出場例〉

- ・「漢語橋」世界大学生中国語コンテスト本選に3年連続、2009年以来7名が日本代表として出場（中国語専攻）
- ・第50回全国スペイン語弁論大会 優勝（スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻）
- ・「外国語大学英語弁論大会」(旧5大英語弁論大会)において過去12年間で8度の団体優勝（英米語専攻）

CALL教室

コンピューターを使った最先端の語学学習システムのCALLを用いることによって、各種言語の会話や発音、リスニング、タイピングなどの実践的な能力を、楽しく、かつ着実に身につけることができます。CALL教室では上級生のアシスタントが機器操作の補助などをサポートし、授業が効率的に進められます。またUSBメモリでシステムの機能の一部を持ち帰り、自宅で音声教材を用いた練習ができるのも大きな魅力です。



地域文化学科

深い教養で、グローバル社会に貢献する。

グローバル化する世界では、予想もしない展開が私たちを待っています。将来、未知の地域や専門外の領域に飛びこむ場面もあるはず。そんなときに役立つのが、本学科で身につく「広域性」と「学際性」。地域文化学科では、4つの研究コースと10の地域言語から、世界の言語・政治・経済・社会・文化について広く深く学びます。豊富な異文化交流経験をもつ国際的教養人として、卒業生が多彩な業界で活躍しています。

魅力を PICK-UP!

研究を支える施設

附属天理図書館は日本を代表する図書館として世界的に著名な図書館リストにも名を連ねています。貴重なコレクションを目標に世界各地から研究者や閲覧希望者が訪れるほど。また附属天理参考館は世界各地の生活文化資料・考古美術資料約30万点を収蔵。学生の地域研究を、文献と文物の両面からサポートしています。



附属天理図書館



附属天理参考館

iCAFéで、国際交流

「インターナショナル・カフェ」（通称：アイ・カフェ／iCAFé）は、日本人学生と留学生と教職員が自由に交流できる場所。各国の留学生たちとランチを一緒に食べたり、母国語を教えあうなど、学生たちは学内にいながら海外留学しているような日常を送ることができます。留学を果たした日本人学生の多くが、出発前のiCAFéでの留学生との交流経験が現地ですぐに話して話しています。



卒業生メッセージ MESSAGES 国内外で広く活躍しています。

中学校教員



姫路市立書写中学校
教諭(英語)

松下 知代さん
外国語学科 英米語専攻
2020年3月卒業

中学校で英語科の教員として勤務しています。生徒の話にしっかりと耳を傾けることを大切にしています。天理大学で履修した「英語科指導法」での学びは、現在授業を行ううえでとて役に立ち、よくプリントや教科書を見直して授業に取り入れています。子どもたちに寄り添い、可能性を引き出せる教員になりたいです。

日本語教員



ヒューマンアカデミー
日本語学校大阪校
常勤講師兼進路担当

中尾 信弘さん
外国語学科 韓国・朝鮮語専攻
2018年3月卒業

留学生に日本語やマナーを教えながら、進路指導も担当しています。さまざまな事情で留学している学生がいるので、一人ひとりに寄り添うことを心がけています。天理大学の「日本語教員養成課程」での実践的な学びにより、初回から緊張することなく授業ができました。また通訳が必要な場面では、習得した韓国・朝鮮語が役に立っています。

グローバル企業社員



アリババ株式会社
グローバルB2B事業部
セールス

大下 英人さん
外国語学科 中国語専攻
2019年3月卒業

世界最大級のオンライン展示会「Alibaba.com」を活用し、日本企業への海外進出提案やパートナー企業とのアライアンスに携わっています。大学時代は、先生から個別レッスンで熱心に発音の指導をいただき、学内外のスピーチコンテストにも出場。職場で中国語を使う際、中国人社員から発音を褒められることが少なからず自信になっています。

日本語教員



ワン・バーバス国際学院
専任教員

藤原 節夫さん
外国語学科 スペイン語・
ブラジルポルトガル語専攻
2019年3月卒業

大阪の日本語学校で勤務し、主にアジア圏の留学生に日本語教育を行っています。在学中、メキシコに1年間留学し、現地の小さな大学で日本語を教えたことが、現職のきっかけです。日本語教員にとって、学生とのコミュニケーションはとても大切です。留学中に学んだ他者を理解する姿勢は、現職には欠かせません。

調達本部勤務



株式会社日立ビルシステム
調達本部

功刀 文さん
地域文化学科
アジア・オセアニア研究コース
2018年3月卒業

ビル設備の製造やメンテナンス事業をグローバルに展開する企業の調達部門で、メンテナンスに必要な部品を調達し、全国の支社に供給する業務を行っています。学部ではタイ語を専攻。タイとつながりの深い会社で働きたいとの想いから、タイに工場がある当社に就職しました。常に向上心を忘れず、いつかタイで働けるように日々努力を続けたいです。

公務員



三重県庁

松田 啓太さん
地域文化学科
ヨーロッパ・アフリカ研究コース
2018年3月卒業

三重県内のスポーツ振興及び普及、毎年開催される国民体育大会に向けた三重県の競技力向上に係る業務に携わっています。少ない予算で多くの利益を県民の皆さんにお返しすることを大切にしています。コロナ禍の影響で大変な状況かもしれませんが、国際学部での学びは社会で役立ちます。さまざまなことに積極的に取り組んで下さい。

消防士



東京消防庁
麻布消防署 消防士

梁川 晃三さん
地域文化学科
アメリカス研究コース
2019年3月卒業

消防士として勤務し、予防担当として建物への立入検査などを実施しています。助けを求めている人を助けられたときに何よりもやりがいを感じます。さまざまな国籍、宗教、価値観を持った人が多くいる国際学部で、多様性を受容する気持ちを育みました。消防車を運転する機関員となり災害現場に出動する夢を叶えるため、日々勉強中です。

カメラマン



株式会社関西西通
カメラマン
(テレビ番組の撮影)
ジュコスカ・エリザベタさん
外国語学科 日本語専攻
(現在の地域文化学科日本語専攻
・留学生対象) 2018年3月卒業

制作プロダクション会社で勤務しています。天理大学の企業説明会で現在の職場と出会い、もともとカメラマンになったことから就職しました。在学中は「枕草子」と『徒然草』に隠れているわび、さび、幽玄の世界を研究。日本語で古典を読むことが難しいときもありましたが、目標を持って最後まで乗り越えることの大切さを学びました。



学生と教員が一丸となり「英語」で、地域を笑顔に

外国語学科 英米語専攻

○地域社会に貢献する英米語専攻生

英米語専攻では、長年にわたり地域社会に貢献できる体制を、学生・教員が一丸となって整えてきました。系列の小学校・中学校・高校はもとより、奈良県内の各地の学校へ学生を派遣したり、教員が赴くなど幅広いニーズに答えました。天理市英語メニュープロジェクトでは本専攻の学生や教員が参加し、天理市内の飲食店の全メニューの英語翻訳を1年半がかりで完成。柔道グラウンドスラム大阪、世界柔道選手権などにもボランティア通訳として学生を派遣。東京オリンピック・パラリンピックにもボランティア通訳を派遣しました。



2週間の試練。スペシャリストの指導で、点数を伸ばす

外国語学科 英米語専攻

○TOEFL講座対策

天理大学では、留学またはさらなる英語力向上を目指す学生のために約2週間のTOEFL講座を設けています。この講座では学外から招いたTOEFL対策のスペシャリストによる指導が朝から夕方まで行われ、TOEFL試験も2度（初日と最終日）実施されます。体的にも精神的にも厳しい時間を過ごすことにはなりますが、その分、英語力は身につきますし、点数にも大きく反映されます。この期間中のTOEFL試験は無料、講座受講料も格安ですので、ぜひ自ら進んで受講してみてください。



韓国・朝鮮語劇も好評。親睦を深めています

外国語学科 韓国・朝鮮語専攻

○学生自治組織「金剛会」

韓国・朝鮮語専攻の学生自治組織である「金剛会」は、毎年新入生歓迎会、韓国の協定校（韓国外国語大学校、江原大学校など）からの留学生歓迎会、体育大会、夏合宿、卒業生送別会などの行事を活発に展開しています。また毎年秋の大学祭では韓国・朝鮮語によるオリジナル語劇の発表、恒例の巨大灯籠の設置、模擬店等が好評を博しています。「金剛会」を通じて先輩と後輩、また同級生同士が親睦を深め学びあうことは、本専攻の伝統となっています。「金剛会」は卒業生にとっても大切な心の拠りどころとして大きな役割を果たしています。※2020年度・2021年度はコロナ禍のためほとんどの行事が中止となりました。



歴史ある中国語サークルで、語学力と行動力を身につける

外国語学科 中国語専攻

○漢語会話班

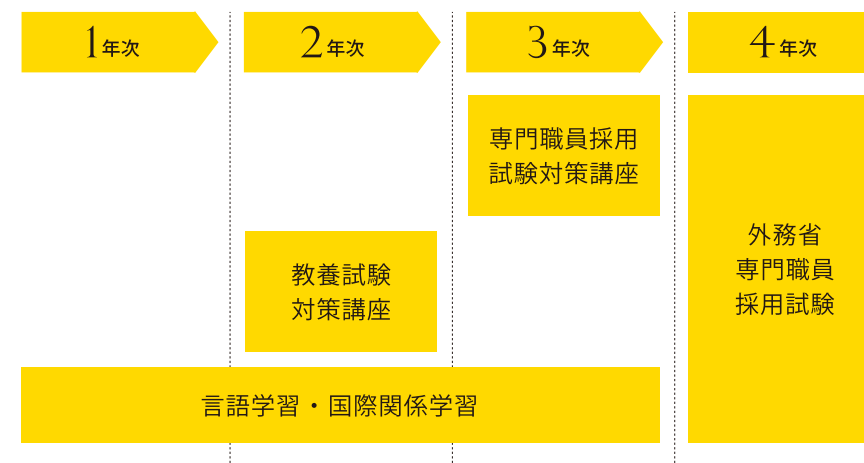
天理大学漢語会話班（略称：漢会班）は、中国語専攻の学生が組織する中国語サークル。1972年の日中国交正常化の年に発足しました。現在は中国語専攻研究室指導のもと「中国語スピーチコンテストや地域での各種ボランティア活動への参加を通して、中国語力はもちろんのこと、一市民として自分に何ができるのかを考え、実行することのできる思考力と行動力を身につける」ことを目標に、活発な活動を展開。OB総数はすでに300人を超え、その高い語学力から「中国語の天理」の名をとどろかせています。

「語学の天理」のDNAを活性化。「外交官養成プロジェクト」始動！

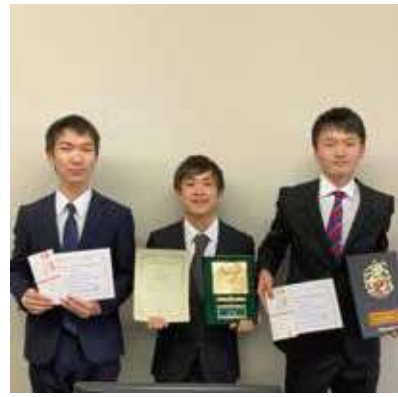
天理大学は、2025年の創立100周年に向けて、建学の精神を継承し、さらに教育や研究、学生支援等の充実に努め、社会の要請に応えうる大学となるための指針として、全学的な議論を経て作成された「天理大学ビジョン2025」をスタートさせました。その一環として2018年末から「外交官養成プロジェクト」が始動。試験と面接を経て選抜された学生は、1年次から3年次にかけてハイレベルな語学力と国際的に通用する

る教養を身につけるための「外交官養成セミナー」を受講し、原則として4年次の春に外務省専門職員採用試験に挑むことになります。1925年に外国語学校として開校した伝統を持つ本学。実践的な語学教育に秀でた「語学の天理」のDNAを活性化させ、世界に貢献できる次代の国際人を輩出するのがこのプロジェクトのねらいです。

■外交官養成セミナーの流れ（標準コース）



■留学する時期によっては、4年次に採用試験を受験できない場合があります。



教室で習ったスペイン語を使って自分の意見を披露する

外国語学科 スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻

○スペイン語弁論大会

毎年12月、天理大学でスペイン語弁論大会が開催されます。この弁論大会は、50年以上の歴史を持つ伝統ある大会です。全国の大学からスペイン語を学ぶ学生たちが参加し、日頃の勉強の成果を発揮し、競い合います。大会では、発音だけではなく弁論の内容も審査されます。これまで本学の学生が多数参加し、入賞を果たしてきました。出場する学生だけではなく、語学力を活かし、スペイン語による司会や裏方を本学学生が担当するのも特徴です。（主催：天理大学、後援：駐日スペイン大使館、天理市、奈良新聞社）



学内のカフェで留学生とスペイン語で楽しく会話

外国語学科 スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻

○ネイティブ留学生による語学レッスン

大学内の異文化交流カフェiCAFé（アイ・カフェ）では週2回、ネイティブ留学生によるスペイン語やポルトガル語のレッスンがあります。また、授業の合間を利用して留学生とおしゃべりしながら語学力をつけることができます。同じ学生どうし、日常の出来事から恋の話まで、話したいことはたくさんあります。それをスペイン語やポルトガル語でどうやって伝えればいいのか。間違った表現をしても、留学生が優しく教えてくれるので、「がんばって勉強しよう」という気持ちになれます。



プロの漫画家を招き、マンガ制作を体験

地域文化学科 日本研究コース（留学生対象）

○日本コミュニケーション文化概論

日本研究コースでは、プロの漫画家による指導の下、留学生を対象としたマンガ制作の授業が行われています。マンガを読んだことはあっても、描いたことは一度もない留学生たちですが、プロの漫画家に指導してもらおうと、不思議とマンガを描くことができるようになります。制作された漫画の中から、年に一度、天理大学マンガ大賞を選定。受賞作品は、動くマンガ「モーションコミック」になります。作品は、天理大学のYouTube公式アカウントで公開されます。日本に留学した思い出の一つとしてマンガを制作しながら、創造力や企画力を身につけてみませんか。



観光では味わえない異文化体験で、視野を広げる

地域文化学科 アジア・オセアニア研究コース

○「異文化実習」(タイ)

日本の若者にとってタイは馴染みが薄く、どのような国なのかよく分からないかもしれません。実は、タイは古くから日本との交流があり、現在もたくさんの日系企業が進出している国のひとつです。タイでの異文化実習は、事前の座学を通じてタイの社会情勢、文化、言語について学び、秋学期終了後の2週間、観光では味わえない現地実習を、タイの首都バンコクと地方都市で行います。地元の小学校を訪問し、タイの社会と文化に触れながら、日本のゲームや歌、折り紙などの紹介を通してタイの子どもたちと交流し、学生ならではの異文化体験ができます。



多からなる、一つのアメリカ文化を体験

地域文化学科 アメリカ研究コース

○「異文化実習」(アメリカ)

アメリカ西海岸で豊富な海外体験をします。アメリカの実生活を身近に体験するため世界で最も多様な都市・ロサンゼルス市の一般家庭でホームステイ。他にもアメリカスポーツ文化の一角を理解するためにNBAの試合を観戦し、南カリフォルニアのビーチ文化に触れるため、ベネスやハンティングトンビーチのスケーターやサーファーを見物。日本の教育文化を比較するためにUSCやCSULBキャンパスを訪問し、英語を全く活用していない移民コミュニティにも足を運びます。2週間の実習を通じて主に多文化的な知恵を身につけることで自らの文化的地平を大きく広げることができます。



スピーチ・ディベートで、実践的英語力を養う

外国語学科 英米語専攻

○E・S・S部の活動

E・S・S部の部員は、ほぼ英米語専攻の学生。英米語専攻では代々その活動を支援し、顧問を専攻から選んできました。60年以上の歴史を持ち、全国レベルのスピーチコンテストやディベートコンテストで優勝しています。近年では関西の4つの外国語大学と天理大学で構成され約50年の歴史を持つ「外国語大学英語弁論大会」(旧5外大英語弁論大会)で常に上位の賞を獲得。部員は多くは本学の交換留学試験に合格しており、留学のノウハウを伝える交流の場としても活用されています。また同部出身の卒業生の多くが商社や在外公館、大学、研究所、中高の英語教員など英語力を発揮できる職場で活躍しています。



欧州の文化への関心と理解を深める

地域文化学科 ヨーロッパ・アフリカ研究コース

○「異文化実習」(ヨーロッパ)

ヨーロッパ・アフリカ研究コースでは、2018年度の「異文化実習」をドイツ、フランス、スイスの3か国で実施しました。拠点にしたドイツ南西部の美しい町フライブルクでの実習(ワイン生産農家や高い環境意識をもつエコ農場訪問、地元サポーターに混じってのサッカー観戦、冬を追い払うカーニバル祭の見学、ユダヤ教旧会堂での歴史学習、独仏バイリンガル幼稚園での異文化交流)に加え、スイス(チョコレート工場見学)やフランス(ストラスブールの欧州評議会見学)への日帰り研修旅行など、多岐にわたるプログラムを通じてヨーロッパの文化に対する関心と理解を深めました。



外国語としての日本語を学び、日本語教員をめざそう

外国語学科・地域文化学科

○日本語教員養成課程

日本語教員養成課程では、日本語を外国語として学習する人たちに教える日本語教員になるための勉強をします。1年次から4年次にかけて、日本語を不自由なく話せる＝日本語を教えられる、ではないということを実感しながら、音声・語彙・文法などの面から日本語を学問的に学びます。4年次のときには「日本語教育実習」として、学外の日本語教育機関で1週間ほど日本語教員の仕事を実際に経験します。外国人材の受け入れ拡大でこれから注目を集める日本語教員をあなたも目指してみませんか。

ゼミ紹介 SEMINAR REPORT



外国語学科 英米語専攻

英米語演習（英米文学）
**卒論はエイツからモアナまで。
 独自の視点で作品をひもとく**

シェイクスピアの劇やエイツの現代詩、J・オースティンの小説など英語圏の代表作品を輪読。言語表現や時代背景、批評理論などを学びます。毎回英文を音読し、辞書で意味と語法を確認。学生はテーマを選び文献を調べて発表、レポートに仕上げます。過去の卒論テーマは18世紀のコーヒーハウス研究から映画『モアナ』に見るマウイ像の民俗学的研究まで、独自の視点や考察が光る佳作が多数。イギリス流のクリスマスや新年のパーティーでも、英米の慣習や思想を学び教養を深めます。



外国語学科 韓国・朝鮮語専攻

韓国・朝鮮語演習（韓国・朝鮮語学）
**韓国・朝鮮語と、
 日本語に関する知識を身につける**

本ゼミでは人間の思考・伝達機能を担う言葉を研究対象としています。言語運用を観察することで言語体系について考察するのが目標です。本ゼミでは、学生の母語と専門の外国語（韓国・朝鮮語）の両方の知識が求められます。韓国・朝鮮語と日本語に関する知識を身につけながらより深い言語の理解に迫りたいと思います。



外国語学科 英米語専攻

英米語演習（英語学）
**英語の観察から始まる言語研究。
 テーマは日常に隠れている**

“English”を辞書で引くと、意外な発見があります。例えば、ある辞書で「アジア英語」は“Asian Englishes”。“English”が複数形なのは何故でしょうか。このようにごく当たり前に使う語でさえ研究テーマになります。学生は教員提供の文献にとどまらず、さまざまな資料から研究テーマを発見。最近のテーマでは「英語圏で使用されるその変種」、「日英の丁寧表現の比較」など。教員の親身なサポートのもと、学生は自らのテーマを見つけ卒業論文や課題研究論文に仕上げています。

外国語学科 韓国・朝鮮語専攻

韓国・朝鮮語演習（韓国・朝鮮文学）
**朝鮮半島の人々の内面世界を探り、
 理解する**

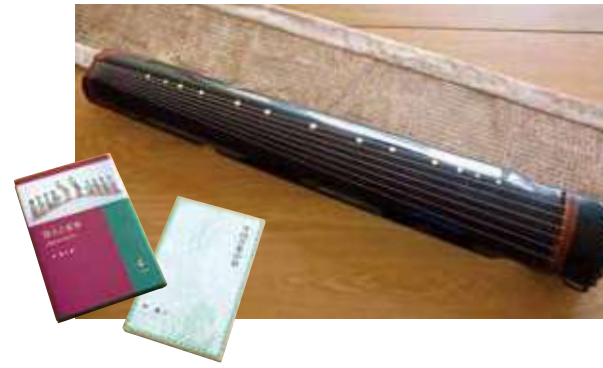
私たちのゼミでは、韓国・朝鮮文学に関すること、あるいはその近接分野について勉強しています。例えば、神話、説話、詩歌、小説、パンソリ、仮面劇や、近接分野としては映画や歌謡なども文学との何らかのかかわりを前提としながら扱っています。朝鮮半島に生きた（生きる）人々の内面世界に、こうした媒体を通じて触れ、何かを感じ、理解を深めることが目標です。



地域文化学科 アジア・オセアニア研究コース

表現文化演習1・2
**中国と日本の美意識の違いを、
 さまざまな視点で探る**

授業では色彩・庭園・絵画・書道などさまざまな視点から、中国と日本の美意識の違いを取りあげて解説します。そのなかで学生自らが興味を持つトピックを見つけ、「アジア遊学」などの雑誌や、「あじあボックス」などの関連書を参照し、レポートを作成し、ゼミで発表して理解を深めていきます。



外国語学科 中国語専攻

中国語演習（言語・社会・文化研究）
**広範囲・多角的に中華圏の
 さまざまな文化や価値観を学ぶ**

中国語の勉強を主として、歌や映画、化粧、料理など、広範囲・多角的に中華圏のさまざまな文化や価値観を研究します。「知己知彼（己を知り彼を知る）」の観点から、中国の過去と現在を正しく理解し、未来を展望するための知識と方法を学びます。そして、グローバル人材に必要な適応力を養うためのツールとして、語学力、コミュニケーション力、情報処理能力の習得も重視します。多文化・多国籍社会になりつつある日本で「共生」についても研究し、知識や経験を実践力に結びつけていきます。



外国語学科 スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻

イベロアメリカ演習（ブラジル研究）
**ブラジルの日本人移民と在日ブラジル人
 に見る、人と文化と言語の関わり**

日本とブラジルの交流は、今日まで100年以上の歴史を持っています。平成に入ってから、日本における在日ブラジル人の存在も大きくなりました。本ゼミでは、ブラジルにおける日本人移民・在日ブラジル人関連について、講義及び文献の輪読会を通して歴史・社会文化・言語的な知識を深め、学問的な基礎を固めます。



外国語学科 スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻

イベロアメリカ演習（スペイン語学）
**言語学で、
 より深く正しくスペイン語を理解する**

スペイン語の言語学的知識を身につけることによって、より正しくスペイン語を理解できるようになります。言語学の基礎を固め、スペイン語の音声学、形態論、統語論、意味論、語用論、及びスペイン語の歴史を順に進めます。また、社会言語学的観点からスペイン語圏の社会と文化やそれぞれの国の言語事情とその諸問題（バイリンガル教育、地域言語、消滅危機言語など）を研究します。

地域文化学科 アメリカス研究コース

表現文化演習1・2
**フィールドワークからデータベース構築
 まで、さまざまな手法を学ぶ**

このゼミでは2年次の学科共通科目「地域研究方法論」で習得したフィールドワークの手法にもとづき、いわゆる「生の資料」（1次資料）の収集とその情報化、分析と解釈の方法を学びます。春学期は「地域研究方法論」では到達できなかったデータベース構築の手法を実習を通じて習得し、秋学期には各自で設定したテーマについての調査とその報告をしていきます。



地域文化学科 ヨーロッパ・アフリカ研究コース

表現文化演習1・2・3・4
**問題だけではなく、
 アフリカの魅力を知る**

アフリカが抱える問題だけでなくその魅力について知ることを目指します。ゼミのスタイルは参加者の関心や希望にそって臨機応変に決めており、これまでのゼミ生は、スポーツとアフリカの関係、ストリート音楽、農業、女性の幸福などに関心を持って取り組みました。3年次には文献の読み方と発表について学び、3年次の後半からは、文献の集め方や読み方、聞き取り調査の方法、資料のまとめ方と分析方法、卒論の書き方を学びます。



地域文化学科 ヨーロッパ・アフリカ研究コース

生活文化演習1・2・3・4
**欧州の文化・社会・歴史を、
 独自のテーマで研究**

このゼミでは、3年次には、ドイツ語圏やフランス語圏を中心とするヨーロッパの文化・社会・歴史に関するテーマをいくつか取り上げ、文献を読んだり映像を見たり、フィールドワークも取り入れたりしながら、知識と関心を深めていきます。4年次になると各自がテーマを決め、じっくり卒論の作成に取り組みます。外国人や移民、差別や多文化共生、文化交流、環境保護、音楽・文学、食・酒文化、EUに関心のある人を歓迎します。



※昨今のコロナ禍の現状を鑑み、ゼミ・授業等の撮影は原則マスクを着用して実施しました。マスク着用なしの授業写真の撮影は、過去に行われたものです。

CLOSE UP! 教員

「正しい」の裏側を、正視する



外国語学科 中国語専攻

准教授 今井 淳雄
専門：市民社会論(中国・台湾地域研究)、NPO/NGO論

中国・台湾における民間非営利組織と中国の慈善思想との連続性・非連続性について研究しています。影響を受けた本は、溝口雄三著『中国の衝撃』。大学院生の時に読み、これまでの中国に対する見方が大きく変わりました。「正しい」といわれていることに潜む危うさに

気づかされました。みなさんも「常識」に疑いを持ち、より自由でのびやかな思考ができるようになってください。そのためには、ひとつの物事に執着せず、広く深く、色々なことにチャレンジして、多角的な視野を身につけることが大切です。

東南アジアの地域研究と日本在留の移民研究に取組む



地域文化学科 アジア・オセアニア研究コース

准教授 ピヤダー・シオンラオーン
専門：東南アジアの歴史、日本研究

日本との接点はタイの大学で日本語を学んだときから始まりました。その後日本の大学院で歴史を専攻し、江戸時代の日本・中国・タイ(当時はシャム)との交流史を研究することになりました。現在は東南アジアの地域研究と日本在留の外国人労働者をテーマにした移民研究に

取り組んでいます。研究とは専門分野の知識と情報を重ねて「研(み)ぐ(み)ぐ」だけではなく、自分自身を「磨(み)ぐ(み)ぐ」ことにもなり、また知らない世界や地域に導かれることにもなります。ぜひ物事への疑問を追究し、未知の世界を解明することに挑戦してみてください。

「コミュニティ通訳」で、在日ブラジル人を支える



外国語学科 スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻

准教授 野中 モニカ
専門：ポルトガル語教育、ポルトガル語通訳翻訳

日本における「ブラジル人コミュニティ」についてご存知ですか。私は彼らを言語面で支える「コミュニティ通訳」活動に長らく関わり、コミュニティ通訳者育成に力を入れています。また、ブラジル人を対象とした日本語教育の教材開発にも関わり、包括的な支援活動のあり

かたを模索しつつ、現場の知見を大学教育現場に応用できるよう努めています。日本に定住する外国人は今後増加すると予想され、生活のサポートができるコミュニティ通訳者はより必要不可欠な存在になります。後進の育成にさらに力を入れていきたいと思っています。

異文化を正しく理解することで、自分は何者なのかが見えてくる



地域文化学科 アメリカス研究コース

教授 山本 匡史
専門：文化人類学・民族学

メソアメリカ先住民の儀礼と世界観や、米国におけるメキシコ先住民移民の動向について研究しています。また近年ではイベリア半島北西部のサゴリア地方の文化と社会にも興味を持っています。異文化と対峙するということーそれは自文化を棄てやみくもに異文化に同化する

ことではなく、異文化を客観的に観察し、それを自文化のうえに投影して分析することではじめて意味を持つのではないのでしょうか。そうすることで異文化を正しく理解し、同時に自分は何者なのかということも見えてくるのだと思っています。

メディアの嘘に敏感に、いざ知の世界へ



外国語学科 英米語専攻

准教授 G.G.マノ
専門：ESL、歴史、法律

民族国家主義について研究しています。きっかけは、修士課程でバルカンの歴史を研究したこと。バルカン半島を理解するためには、民族国家主義の研究が必須。研究を通じ、ニュースメディアやいわゆる専門家の嘘に対し、より敏感になったと感じています。学生の皆さんへ

の私からのアドバイスは、愚かなテレビ番組を見たり、スマートフォンを覗くことで貴重な時間を無駄にしないでほしいということ。代わりに良質な文学作品や歴史書、聖書を多読してください。海外にも積極的に旅行をし、知の世界に心を開いてほしいと思います。

ベトナム南部メコンデルタの多民族社会を研究



地域文化学科 日本研究コース(留学生対象)

教授 芹澤 知広
専門：文化人類学、華僑華人研究

文化人類学(民族学)は、人間の社会・文化の普遍性と個性を比較研究する学問分野です。近年は「21世紀のウォーターフロント：ベトナム南部メコンデルタの多民族社会」という、科学研究費の共同研究を行い、歴史上ベトナムの王朝の影響が強く及ばなかった南部地域で、

各民族が文化的な影響を互いに受けながら共存する様態を、実地調査を通じて研究しています。文化人類学と出会わなければ、日本の内外でさまざまな人々と関わることもありませんでした。留学生に教える、今の刺激的な生活は、文化人類学と密接に結びついています。

人と自然が共存するために、各地の民俗知識を研究



地域文化学科 ヨーロッパ・アフリカ研究コース

准教授 服部 志帆
専門：文化人類学、アフリカ地域研究

人と自然が共存していくためにはどうしたらいいのか。私は、この大問題の手がかりとして、人々が自然と関わりながら築き上げた民俗知識に目をつけました。アフリカのカメルーンや日本の屋久島でフィールドワークを行い、知識の特徴や意味について研究しています。

人々の生活スタイルが急速に変化するなかで、消失の危機にある民俗知識を保全していく方法も検討しています。モットーは、おもしろいと思ったことを研究すること。学生に対しては、相手の「好き」や「おもしろい」を大切にしたいと思っています。

似ているようで異なる、韓国語と日本語を対照して研究



外国語学科 韓国・朝鮮語専攻

教授 金 善美
専門：韓国・朝鮮語学、韓日対照言語学

第2外国語として日本語を学び始めたのは高校生のとき。日本語と韓国語は似ているようで異なる点も多く、上達には時間がかかりました。両言語の共通点と相違点をより理解し、正しい知識を伝えたいとの想いから本格的にこの研究を行うようになりました。「塞翁之馬」が、人生

のモットー。さまざまな場面において試行錯誤は避けられませんが、捕らわれすぎず、良い面を見つけ出すよう心がけています。自分にとって最善の答えを与えられるのはいつでも自分自身。コツコツと積み上げていくことで、力と自信がついてくるのだと信じています。

● 全教員紹介

国際学部 准教授2名



准教授 中村 久美
研究内容：文学・批評理論、比較文学、アイルランド文学、イギリス詩



准教授 吉田 智佳
研究内容：第二言語習得、英語学

外国語学科 英米語専攻 教授3名：准教授5名



教授 島田 拓司
研究内容：異文化・対人コミュニケーション理論



教授 森下 三郎
研究内容：宗教学、人類学、儀礼論



教授 小林 千穂
研究内容：第2言語習得、英語教育



准教授 G.G.マノ
研究内容：ESL、歴史、法律



准教授 山本 享史
研究内容：英語教育、異文化間教育



准教授 小松 利明
研究内容：国際法、平和研究



特任 准教授 スティーブ ヨコビッチ
研究内容：Mind, Brain, and Education



准教授 山本 晃司
研究内容：英語音声学

外国語学科 中国語専攻 教授3名：准教授2名



教授 中川 裕三
研究内容：認知言語学、中国語学、中国語教育



教授 竹田 治美
研究内容：比較言語学、中国言語史、異文化間教育



教授 山本 和行
研究内容：台湾教育史、植民地教育史、日中交流史



准教授 今井 淳雄
研究内容：市民社会論(中国・台湾地域研究)、NPO/NGO論



准教授 陳 毓敏
研究内容：第二言語習得、日本語教育、反転授業の実践研究

外国語学科 韓国・朝鮮語専攻 教授3名：准教授1名：講師1名



教授 熊木 勉
研究内容：韓国・朝鮮語学



教授 金 善美
研究内容：韓国・朝鮮語学、韓日対照言語学



教授 長森 美信
研究内容：韓国・朝鮮史学



准教授 高地 朋成
研究内容：韓国・朝鮮語学



特任講師 李 承娟
研究内容：韓国・朝鮮語学、韓国・朝鮮語教育

外国語学科 スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻 教授3名：准教授2名



教授 片倉 充造
研究内容：スペイン・ラテンアメリカ文学



教授 北森 絵里
研究内容：文化人類学、ブラジル文化研究



教授 野口 茂
研究内容：ラテンアメリカ地域研究



准教授 野中 モニカ
研究内容：ポルトガル語教育、ポルトガル語通訳翻訳



准教授 J.ロベス
研究内容：日本宗教哲学、日本と西洋の現代思想、言語哲学

地域文化学科 アジア・オセアニア研究コース 教授6名：准教授1名



教授 藤田 明良
研究内容：日本中世史、東アジア海域史、世界の多島海比較史研究、歴史遺産の保全と活用



教授 中 純子
研究内容：中国文学・中国文化



教授 野津 幸治
研究内容：タイ地域研究



教授 魯 ゼウオン
研究内容：韓国社会学、都市社会学、エスニシティ論、国際比較研究



教授 井上 昭洋
研究内容：文化人類学、ポリネシア地域研究



教授 奥島 美夏
研究内容：文化人類学、インドネシアなど東南アジア島嶼部



准教授 ピヤダー・シオンラオーン
研究内容：歴史・東南アジア地域研究、日本研究

地域文化学科 ヨーロッパ・アフリカ研究コース 教授3名：准教授3名：講師1名



教授 大平 陽一
研究内容：戦間期子エゴの範囲、ギャルド芸術と亡命ロシア文化



教授 五十嵐 徳子
研究内容：旧ソ連地域研究



教授 森 洋明
研究内容：フランス語教授法、コンゴ、フランス地域研究



准教授 日野 貴夫
研究内容：ロシア語、ウクライナ語、スラヴ文学



准教授 中祐 勝美
研究内容：ドイツ現代史、ドイツ語圏の文化と社会



准教授 服部 志帆
研究内容：アフリカ地域研究、生態人類学、民族植物学



講師 永畑 紗織
研究内容：ドイツ文学

地域文化学科 アメリカス研究コース 教授4名：准教授1名



教授 矢持 善和
研究内容：人文地理学、社会学



教授 初谷 謙次
研究内容：メキシコ史



教授 山田 政信
研究内容：宗教学、ラテンアメリカ地域研究



教授 山本 匡史
研究内容：文化人類学・民族学



准教授 橋本 和美
研究内容：スペイン語学、スペイン語教授法

地域文化学科 日本研究コース(留学生対象) 教授3名：講師2名



教授 住原則也
研究内容：企業社会の人類学的研究



教授 芹澤 知広
研究内容：文化人類学、華僑華人研究



教授 菊池 律之
研究内容：日本語学、日本語教育



講師 片田 康明
研究内容：日本語教育、経営学



講師 福井 孝三
研究内容：日本語教育